

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科
ビジネススクール 2010 年度連続セミナー
「経営」セミナー
大転換期における企業改革

20 世紀の末から 21 世紀にかけて日本経済は大きな転換期を迎え、日本の企業経営は、組織、戦略、人事・労務、財務などあらゆる側面において変革を迫られてきました。今回の連続セミナーでは、この歴史的企業変革に真っ向から立ち向かわれてきた 3 名の経営者の方々（いずれも関学 OB の方です）にご登壇いただき、改革における様々な決断とその背景、創意工夫されたこと、苦心された点などをつぶさに語っていただきます。なお、本セミナーのコーディネーターは本学経営戦略研究科教授・宮本又郎と同准教授・小高久仁子が務めます。

■ 参加費無料 事前申し込み不要 ■



■ 第 1 回 6 月 23 日（水）19：00～20：15

「夢を抱いてチャレンジする熱き心」

講師：樋口 武男 大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長

■ 第 2 回 6 月 30 日（水）19：00～20：15

「変化の中にチャンスあり！ ～ビジネスリーダーの“考動”学～」

講師：辻 晴雄 シャープ株式会社元代表取締役社長・現相談役

■ 第 3 回 7 月 7 日（水）19：00～20：15

「パナソニックの経営革新と CFO の役割」

講師：川上 徹也 パナソニック株式会社前代表取締役副社長・経理大学学長
関西学院大学大学院経営戦略研究科客員教授



会場： 関西学院大学大阪梅田キャンパス 1004 教室

大阪市北区茶屋町 19-19 アプロースタワー10 階

お問合せ先： 関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科

tel：0798-54-6572 e-mail：iba@kwansei.ac.jp

～講義概要～

■ 第1回 「夢を抱いてチャレンジする熱き心」

講師：樋口 武男 大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長

故・石橋信夫氏によって昭和30年に創業され一代で1兆円企業となった大和ハウス工業は、創業者の夢である「100周年に10兆円企業群」を目指して進んでいる。

事業家を目指して社会に出て、自らを鍛えてもらうために転職で飛び込んだ大和ハウスで巡り合った稀代の事業家・石橋信夫氏から直接薫陶を受け、多くの実践的経営論を学ばせていただいた。特に晩年は「先の先を読み」と何度も言われた。

現在トップに立って旗を振る者として、そのDNAを次世代へと引き継ぎ、さらなる成長を実現するために、「人材育成」を経営戦略の柱に据え「あすふかけつ」をキーワードに新たな事業への取り組みを紹介する。

「年齢7掛け・精神7掛け」をモットーに走り続けることができるのは、「三つ子の魂百まで」と言われるように、幼少時の祖母の教育に負うところが大きい。創業者をはじめ今日まで支えていただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、常にチャレンジする熱き心を持ち続け、夢の実現に一歩一歩近づいていきたい。

■ 第2回 「変化の中にチャンスあり！ ～ビジネスリーダーの“考動学”～」

講師：辻 晴雄 シャープ株式会社元代表取締役社長・現相談役

経営とは、一言で言えば「変化への対応」である。変化は、時に一時的なピンチをもたらすこともあるが、改革の上でまたとないチャンスでもあり、乗り越えた者が次への勝者となる。

改革は、ときにそれまでの常識を否定しなければならないだけに、その成否はビジネスリーダー自身が「いかに変化に敏感であるか」、「いかにリーダーシップを発揮して、打ち手をスピーディに実行できるか」にかかっているといえる。これらを自ら実践するために、私は「情報の波打ち際に身を置く」現場主義をモットーとし、座右の銘を、「考動」及び「協創」としてきた。「考動」は、考えながら、アクションを素早く起こすこと。「協創」は、異なる専門能力を持つ者同士が有効なコミュニケーションを通じ、1+1の力を2ではなく3にも4にも高めていくことを指す。

本講義では、テレビ事業の改革、液晶事業の立ち上げ等、夢中で走り続けた自らの経験を、今、改めて振り返りながら、今、我が国企業に求められるべきリーダー像を、聴講される皆さんと一緒に考察していく。

■ 第3回 「パナソニックの経営革新とCFOの役割」

講師：川上 徹也 パナソニック株式会社前代表取締役副社長・経理大学学長
関西学院大学大学院経営戦略研究科客員教授

パナソニックグループは90年代の失われた10年からの脱却を目指し、2000年から「21世紀型モデルの創造」に向けて動き始めた。

経営理念の実践こそが革新の軸であり、改革のコンセプトは全体最適とグローバル連結経営であった。それに向けてCCM・キャッシュフロー経営を柱にしたマネジメント全体の変革であった。

伝統ある事業部制の解体や不採算事業からの撤退を断行。その中でCFOとして経理社員制度を礎に歴史的なしくみを抜本的に変え、経営管理の枠組みや業績評価指標なども変えてきた。改革の過程でトップを補佐し、従業員や外部を見つめながら推進した中での失敗談や会社で仕事を進める上で大切だと感じてきたことを素直にお話したい。

現在は改革の体験を風化させないために、社員教育に身を捧げている。

〈会場〉

関西学院大学大阪梅田キャンパス 1004 教室
〒530-0013 大阪市北区茶屋町 19-19 アプローズタワー10階

